

平成30年度実施施策に係る政策評価書

別紙2

(環境省30-28)

施策名	5-7. 国際観光資源の整備					
施策の概要	美しい国立公園等の自然を持続的に活用し観光資源の整備等により、国内外の旅行者の地域での体験滞在の満足度の向上を図る。					
達成すべき目標	平成28年3月に策定された「明日の日本を支える観光ビジョン」に掲げる2020年国立公園訪日外国人利用者数1000万人の目標を達成し、「観光先進国」の実現に貢献する。					
施策の予算額・執行額等	区分	28年度	29年度	30年度	元年度	
	予算の状況(百万円)	当初予算(a)	-	-	250	1,000
		補正予算(b)	-	-	0	
		繰越し等(c)	-	-	(※記入は任意)	
		合計(a+b+c)	-	-	(※記入は任意)	
	執行額(百万円)	-	-	(※記入は任意)		
施策に関係する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	観光ビジョン実現プログラム2018					

測定指標	国立公園訪日外国人利用者数	基準値	実績値					目標値	達成
		27年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	2年度	-
		490万人	-	490万人	564万人	600万人	集計中	1000万人	
	年度ごとの目標値		-	-	-	-	-		
	利用施設の多言語化	基準	施策の進捗状況(実績)					目標	達成
		32年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	2年度	-
40施設		-	-	-	-	5施設	40		
年度ごとの目標		-	-	-	-	8施設			

評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) 相当程度進展あり (判断根拠) ・観光庁との連携のもと、国立公園の魅力や利用に係る情報を集約したウェブサイトの構築を行い、各国立公園における滞在・体験の質を向上させるための基盤となる情報発信環境が整備された。 ・また、観光庁「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」で作成された英文解説文を活用し、Unicode導入等による国立公園案内板等の多言語解説整備、多言語による国立公園紹介映像作成等を進めた。
	施策の分析	訪日外国人の目に触れる機会の多いビジターセンター等の拠点施設における多言語解説文の整備や、訪日外国人が多く閲覧する英語WEBサイトにおける国立公園紹介のページ等の整備が進んでいるが、整備に必要となる英文解説文の作成に時間を要したことから当初予定の利用施設数に達しておらず、目標達成に向けて更なる取組が必要である。
	次期目標等への反映の方向性	多言語媒体整備に必要な英文解説文の完成見込みや事業の対象者も考慮した適切な目標設定を行う。また、多言語媒体整備に一定の期間を要するものについては、解説文の作成に先立ち、または並行して案内板の実施設計等を進めるなど効率的・効果的な多言語媒体整備が可能となるよう予算執行についても改善を計る。

学識経験を有する者の知見の活用	国立公園満喫プロジェクト有識者会議において、取組内容について報告するとともに、出された意見を施策に反映している。
-----------------	--

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	国立公園訪日外国人利用者数推計値
---------------------------	------------------

担当部局名	国立公園課 国立公園利用推進室 自然環境整備課	作成責任者名 (※記入は任意)	熊倉 基之 中島 尚子 山口 富夫	政策評価実施時期	令和元年8月
-------	-------------------------------	--------------------	-------------------------	----------	--------